

横浜東邦病院検査室からのお知らせ

生化学の検査項目であるアルカリ性フォスファターゼ (ALP) と乳酸脱水素酵素 (LD) の測定方法は、国内では一般社団法人日本臨床化学学会 (JSCC) が定めた方法『LSCC法』が用いられています。

2020年4月1日より、諸外国で広く用いられている国際臨床化学連合 (IFCC) の測定法『IFCC法』へ切り替わることになりました。

準備の整った施設から切り替わることになり、当施設では4月1日より切り替わります。

他の施設でも検査をされている方は測定値が異なっている場合があるかもしれませんが、ご了承ください。

- * LD (LDH) については基準範囲の大幅な変更はありませんが、肝疾患などで低値傾向になる
- * ALP については従来法と比べると基準範囲や測定値が1/3程度になる

検査名称	結果	単位	基準値
ALP		U/L	120~245
ALP/IFCC		U/L	38~113
LD (LDH)		U/L	104~338
LD (LDH)/IFCC		U/L	104~338

検査項目に『IFCC』
とつきます

基準範囲が1/3程度